



Gonshiro

＜新木場＞気になるスポット

株式会社権四郎

「Gonshiro Shinkiba Base」さんを訪ねて

月報委員会

委員 山下裕二

(木村物産(株))

委員 細田俊輔

(細田木材工業(株))

7月24日水曜日、猛暑の中、株式会社権四郎様を訪ねて参りました。当日は深谷委員長・関野副委員長・細田・山下委員4名で取材に伺い、斎藤取締役、山内様に暖かくお出迎えいただき、お話を聞かせていただきましたので、ご紹介させていただきます。

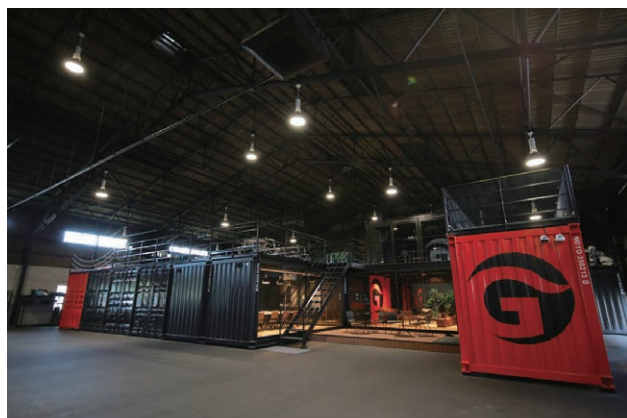
私たちを迎えてくれたのは、黒と赤を基調にしたロゴ入りシャッター、コンテナハウスを利用しての



権四郎 斎藤取締役にお話しを伺いました



黒と赤を基調にしたロゴ入りシャッター



コンテナハウスを活用した空間

おしゃれな空間でした。倉庫内部の鉄骨まで黒で統一されており、デザイン性の高い内外装は、「企業として働く人たちのモチベーションを上げる努力は不可欠である」とのことです。

株式会社権四郎様は1989年に設立され、マンションの1室からスタートし、更なる成長へと繋げる本拠地（新事務所兼倉庫）として2022年Shinkiba Baseが完成。事業内容としてはコンサート・テレビ・ミュージックビデオに関する撮影・制作、特に音楽に関する映像に力を入れていて、誰もが知るミュージシャンのミュージックビデオやコンサート映像を数多く手掛けておられるそうです（Mr.Children、桑田佳祐、EXILE、なにわ男子、松田聖子、MISIAなど※敬称略）。

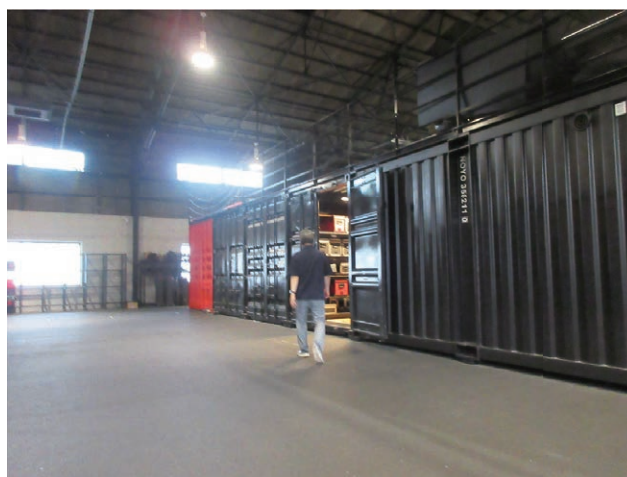
新事務所兼倉庫として新木場を選んだ理由は、首都圏へのアクセスが非常に良いことと、撮影の現場は不規則なので、車両での機材等の搬出入が深夜になることも多々あり近隣住民への配慮をしなくても良いこと、また新木場に同業者が集まっていることもあげられていました。保管されている撮影機材は企業カラーの黒と赤で統一され、更には湿度管理までされている事には驚きでした。

取材当日森原社長は不在との事でしたが、その日は別の場所で社長自ら大きな現場を仕切っておられ、先頭に立って良いものを作ろうと仕事している姿は、若い人たちから見てもあこがれる存在なのかと思いました。又、社員の平均年齢も非常に若く、女性スタッフも多く在籍されており、尚且つ定着率も80%位との事でした。

今回取材をさせて頂いて一番感じたことは、昔のように技術を覚える修行のような働き方が通用しない時代、遅くなればタクシー代、残業代、給与・ボーナスを支給する等働きやすい職場作りや、撮影機材については、高画質なリモートカメラ、高性能な三脚、レンズやカメラなどの機材を揃えられ、人と機材への投資を惜しまず、クオリティの高い作品を制作できる環境を整えられていらっしゃる点。これらが若手社員の定着率が良い理由、また会社を成長させる重要な要素になっていると思いました。

そんな努力をされている権四郎様でも大きな企画・撮影になると人手不足になることもある様でした。

権四郎様の社名の由来は、会社創設の方々がフリーランスの時、ドキュメンタリー番組製作の為訪れた、京都の老舗料亭に毎日、和歌山から天然の魚を毎日運んできていた魚屋さんの屋号が『権四郎』だったそうです。その魚屋さんの仕事への熱意が会長の心に響いたのでしょうか、起業をする際に暖簾分けしていただいたそうです。魚屋と映像会社と畑は全く違いますが、商売・仕事という事については何か



湿度管理された機材保管室



大型4K 中継車



おしゃれなオフィス

感じるものがあったのでしょうか。

最後になりますが、ご多忙中にも拘わらず、長時間にわたりお話を聞かせていただき、撮影に関わる機材を見せていただいた齋藤取締役、山内様また社員の皆様に厚く御礼申し上げます。

☆詳しいお問合せは「株式会社権四郎」WEBサイトをご覧ください。

株式会社権四郎「Gonshiro Shinkiba Base」新木場 2 - 15 - 28

